信州医療センターの現状と地域医療

信州医療センターには、一般病床、結核病床、感染症病床があり、25診療科と専門外来などを含む多面的な診療機能を持ち、須高地域の医療の安定的な提供と長野県の政策医療の展開を行っていただいています。

また、須高地域の地域包括ケアシステムの一端を担い、地域の医療・福祉・行政と連携し、外来一般診療はもとより、時間外救急患者さんの診療、急性期から回復期の入院患者さんや退院後の在宅の方の診療を行うとともに、疾病予防や健康増進などの取り組みも積極的に行っています。

県内唯一の第一・二種感染症病床を備え、新型コロナウイルス感染症では、先端医療の提供、医療職者の育成にも努め、地域に安心安全をもたらしています。

信州医療センターの寺田院長に、病院を取り巻く現状や地域医療などについてインタビューさせていただきました。

年頭にあたって

須高地域の皆さまには、日頃より当院運営にご支援・ご協力いただきありがとうございます。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

２０２２年１月号の広報須坂で当院の現状についてご説明させていただきます。

信州医療センター院長　寺田克

コロナ禍でも地域の皆さまのご協力により安心安全が守られています

当院では、２０２０年２月から新型コロナウイルスの患者さんを受け入れ、多くの患者さんの治療にあたってきましたが（下表参照）、クラスターなどは発生しておりません。病院入口での検温や手指消毒、問診、入院患者さんへの面会規制などの対策を行い、皆さまのご協力により安心安全が守られてきました。

また、当院では新型コロナウイルス感染症病棟と一般病棟を分け、動線が交わらないようにしています。安心して受診していただけますが、当院にお越しになる際は、安心安全を守るため引き続き感染予防対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

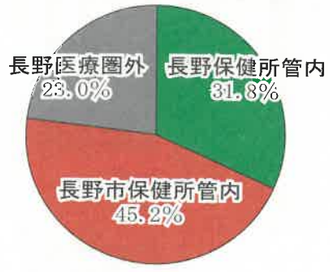
また、皆さまには引き続きマスクを着用する、３密を避ける、手洗い・手指消毒をする、空気が乾燥しないよう加湿するなどの感染予防対策を行っていただければと思っています。

寺田克（てらだまさる）院長

新型コロナウイルス患者などの受入数や地域別受入割合

項目	人数
感染者受入数	305人
疑い患者受入数	26人
計	331人

※上記数値は2020年２月～2021年９月の累計です。



※長野医療圏外とは、長野および長野市保健所管外のことです。

体調が優れない場合は、早めに医療機関に相談・受診することをお勧めします。なお、２０２１年11月から「面会」ができるようになりました。

【３回目の新型コロナワクチン接種】

新型コロナワクチン接種は、感染予防効果、高齢の方においては重症化予防の効果もありますが、時間の経過とともに抗体が下がってしまいます。抗体を維持するには、３回目接種が有効で、接種による予防効果が期待できます。

当院では、２０２１年12月から須高地域の医療従事者の接種も始まりました。

安心して出産していただくために

当院は、須高地域で唯一出産できる病院です。地域で安心して子育てするために当院の果たす役割は非常に重要と考えています。おかげさまで当院で扱う分娩（べん）数は少しずつ増加しています。

コロナ禍において、親族などの面会制限や面会禁止となり、妊娠、出産から子育てまで不安を抱えている方がいらっしゃると思います。

当院では、産婦人科医、助産師、医療ソーシャルワーカー、精神科医や行政を含め多職種が連携した「須坂モデル」に取り組み、妊娠期から出産までの切れ目ない支援を行っています。

産前産後のお母さんのメンタルヘルスを向上させ、産後うつなどを未然に防ぎ、安心して出産していただけるように、サポートや相談しやすい体制を整えています。

在宅医療

できる限り、住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受け、安心して生活できるように、当院でも訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーションなどのサービスを提供しています。

コロナ禍の影響もあって、自宅で療養生活をしたいとお考えの方が増えています。地域の皆さんの要望に応えられるよう、地域の介護事業者の方と協力して、安心して生活できるように努めていきます。

医療職者の育成

当院は、医師の働き方改革の対応の一つとして、厚生労働省から指定研修機関の認定を受け、２０２０年10月に開始した看護特定行為研修「在宅・慢性期領域」では、２０２１年９月に１期生５人を輩出しました。また、２０２１年度に「血糖値コントロールに係る薬剤投薬区分」が認可され、10月から２領域で２期６人が研修を開始しました。

また、長野県と信州大学医学部の支援により、２０２１年４月に開設した信州大学との連携講座「総合内科医育成学講座」で、専門研修医の受け入れに向けた育成プログラムの作成を進めています。

健診を受けましょう

コロナ禍で健診などをちゅうちょされている方がいらっしゃると思います。

健診には、病気を早期に見つける役割があります。早く見つけることで、治療が必要かどうか判断でき、発病を防げる病気もあります。

例えば、糖尿病一つとっても、早期に発見できれば食事療法で改善する場合があります。また、腎不全の発症を防止し、人工透析を行わずに済む場合があります。このことは患者さんの体の負担だけでなく、医療費を低く抑えることにもつながります。

一度健診を受けられると、一定数の方が健診を継続されます。早期発見早期治療は医療においてもとても大切なことで、ご自身やご家族の健康を守るためにも、毎年の行政健診をはじめ、さまざまな健診を受けるようにしましょう。健康はご自身でしか守れません。